

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U) (11)実用新案登録番号

実用新案登録第3079578号
(U3079578)

(45)発行日 平成13年8月24日(2001.8.24)

(24)登録日 平成13年6月6日(2001.6.6)

(51)Int.Cl⁷

識別記号

F I

A 6 1 B 5/00

101

A 6 1 B 5/00

101

K

G 0 1 K 7/00

341

G 0 1 K 7/00

341

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 10 L (全 6 数)

(21)出願番号 実願2001 - 611(U2001 - 611)

(22)出願日 平成13年2月14日(2001.2.14)

(73)実用新案権者 599140367

捷威科技股 分 有限公司

台湾台北県三重市光復路一段88号7樓

(72)考案者 游 朱義

台湾台北県三重市光復路一段88号7樓

(74)代理人 100093779

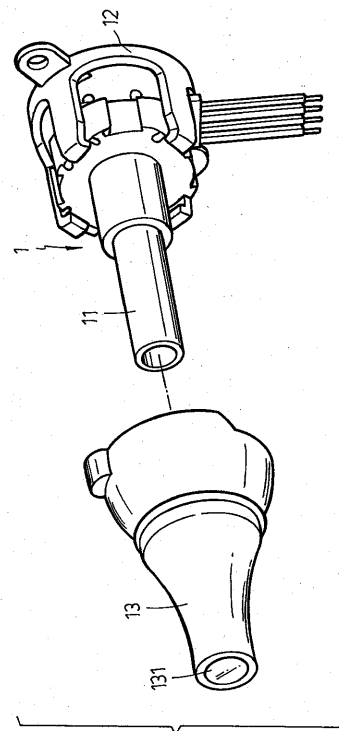
弁理士 服部 雅紀

(54)【発明の名称】 体温計用センサーヘッド

(57)【要約】

【課題】 正確に体温を測定できる体温計用センサーヘッドを提供する。

【解決手段】 導波管 1 1 と、温度のセンサー 1 2 と、導波管の保護カバー 1 3 とを備える。導波管の保護カバー 1 3 の内部には複数の支持肋が設置され、導波管 1 1 と導波管の保護カバー 1 3 との間は所定の間隔に支持されている。導波管の保護カバー 1 3 の外側端面 1 3 1 には縫い目のない透明薄片が一体的に設置され、導波管の保護カバー 1 3 の外側端面 1 3 1 は透明薄片で被覆されている。導波管の保護カバー 1 3 の内部と導波管 1 1 との間から外部に露出する隙間は被覆され、熱伝導阻隔物質が混入しないため、温度測定の精度は向上される。また、外側端面が透明であるため、硬化および研磨により導かれる光は正確に折射される。外側端面は、払拭、消毒または洗浄可能であり、清潔および衛生が保持される。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 導波管と、温度のセンサーと、前記導波管の保護カバーとを備え、

前記導波管の保護カバーの内部には複数の支持肋が配置され、前記導波管と前記保護カバーとの間は所定の間隔に保持され、前記導波管の外側端面には一体化または縫い目のない透明薄片が接続され、前記保護カバーの外側端面をシールし、外界の水、粉体、塵埃の侵入を防止し、前記導波管の消毒、拭きおよび洗浄が容易であることを特徴とする体温計用センサーヘッド。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来の体温計用センサーヘッドを示す斜視図である。

【図2】従来の体温計用センサーヘッドを示す模式図で*

*ある。

【図3】本考案の一実施例による体温計用センサーヘッドを示す斜視図である。

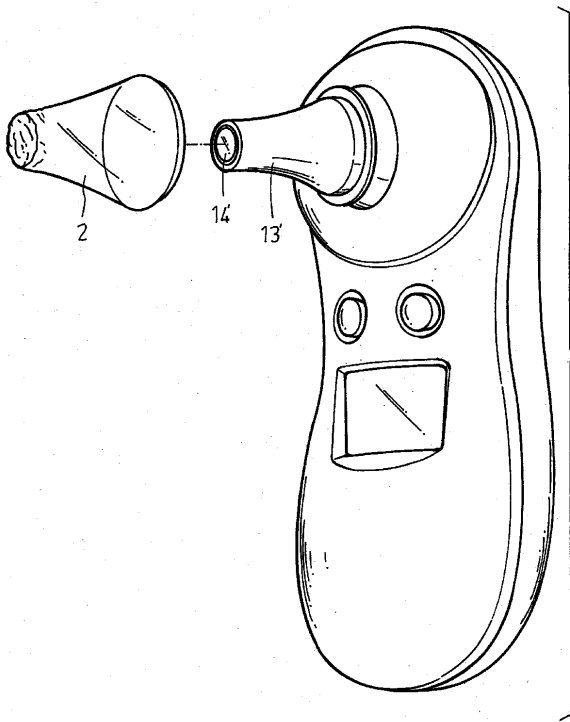
【図4】本考案の一実施例による体温計用センサーヘッドを示す分解斜視図である。

【図5】本考案の一実施例による体温計用センサーヘッドを示す断面図である。

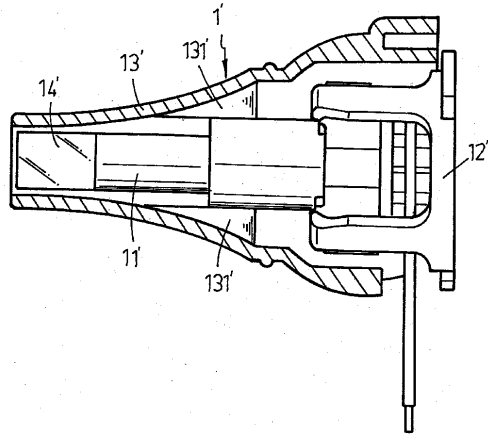
【符号の説明】

- 1 センサーヘッド
- 10 1 1 導波管
- 1 2 温度の感知センサー
- 1 3 導波管の保護カバー
- 1 3 1 外側端面
- 1 3 2 支持肋

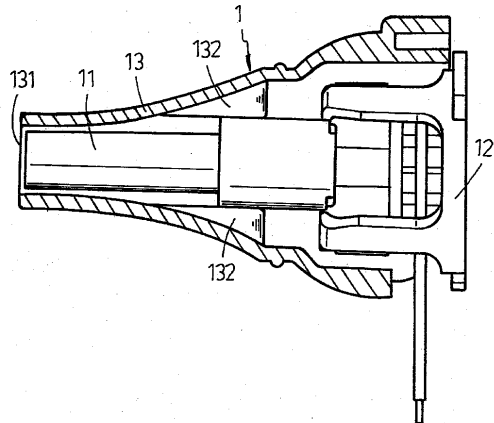
【図1】



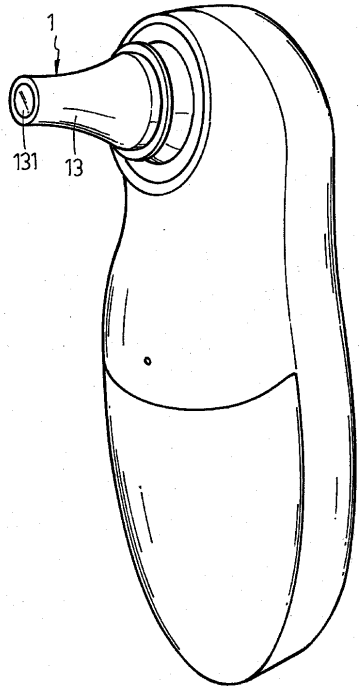
【図2】



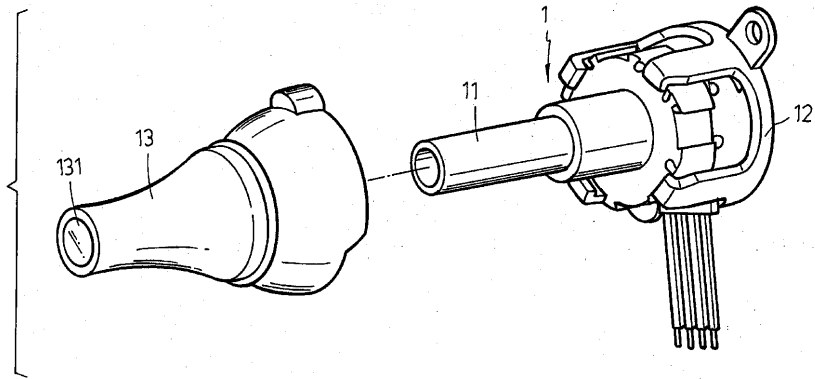
【図5】



【図3】



【図4】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は、体温計用センサーヘッドに関する。

【0002】**【従来の技術】**

図1および図2に示すように、従来より、体温計用センサーヘッドは、導波管11'、温度のセンサー12'、導波管の保護カバー13'および薄膜カバー14'を備える。導波管の保護カバー13'の内部には複数の支持肋131'が設置され、導波管11'と導波管の保護カバー13'とは一定の間隔で支持されている。薄膜カバー14'は導波管11'の先端部に挿入され、光が導かれる。

【0003】

しかしながら、従来の体温計用センサーヘッドは、粉体または塵埃が隙間から混入し、薄膜カバー14'の表面に付着するとき、薄膜カバー14'の材質が薄いため、薄膜カバー14'を拭くことができない。薄膜カバー14'が拭かれると、摩耗、貫通および異物侵入などの危険性を有する。

【0004】

このため、薄膜カバー14'は洗浄および消毒が不可能であり、薄膜カバー14'が汚染されると、不正確な光が導かれ、温度測定の精度に影響を与える。このため、置き換え方式のキャップ2が使用されている。キャップ2は衛生的であり、水または粉塵が導波管の保護カバー13'と導波管11'との間に混入することは防止される。体温計用センサーヘッドは外部に露出している隙間を有するため、キャップ2が使用されなければならない。導波管の保護カバー13'の外部にキャップ2が設置されると、単層の被覆表面が増加される。また、キャップ2は屈折紋を有するため、赤外線が2枚の薄膜層を通過すると、光の屈折不良が発生し、温度測定の精度に影響を与える。

【0005】**【考案が解決しようとする課題】**

そこで、本考案の目的は、正確に体温を測定できる体温計用センサーヘッドを

提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本考案請求項1記載の体温計用センサーヘッドによると、導波管と、温度のセンサーと、導波管の保護カバーとを備える。導波管の保護カバーの内部には複数の支持肋が設置され、導波管と導波管の保護カバーとの間は所定の間隔に支持されている。導波管の保護カバーの外側端面には縫い目のない透明薄片が一体的に設置され、導波管の保護カバーの外側端面は透明薄片で被覆されている。

【0007】

導波管の保護カバーの内部と導波管との間から外部に露出する隙間は被覆され、外界の水、粉体または塵埃などの熱伝導阻隔物質は隙間に混入しない。熱伝導阻隔の干渉物質がないため、温度測定の精度は向上される。また、外側端面が透明であるため、硬化および研磨により導かれる光は正確に折射される。外側端面は、払拭、消毒または洗浄可能であり、清潔および衛生が保持される。キャップが不必要であるため、コストを減少でき、キャップの屈折紋による光の屈折の影響も防止できる。

【0008】

【考案の実施の形態】

以下、本考案の実施の形態を図面に基づいて説明する。

図3および図5に示すように、本考案の一実施例による体温計用センサーヘッド1は、導波管11、温度のセンサー12および導波管の保護カバー13を備える。導波管11から発射される赤外線が導波管の保護カバー13の外側端面131を通過し、温度のセンサー12により正確な温度が測定される。導波管の保護カバー13は導波管11の外部に設置されている。導波管の保護カバー13の内部には複数の支持肋132が設置され、導波管11と導波管の保護カバー13との間は所定の間隔に支持されている。

【0009】

したがって、熱の伝導は阻隔され、測量される体温値の誤りは防止される。外側端面131には縫い目のない透明薄片が一体的に設置され、導波管の保護カバ

ー 1 3 の外側端面は透明薄片で被覆されている。このため、外界の水、粉体または塵埃が導波管の保護カバー 1 3 の内部と導波管 1 1 との間の隙間に侵入することは防止され、熱伝導現象の形成による温度測定の精度に影響を与えない。

【 0 0 1 0 】

導波管の保護カバー 1 3 の外側端面 1 3 1 は硬化および研磨され、硬く堅固に形成され、導かれる光は正確に屈折する。外側端面 1 3 1 に水または汚れが存在するとき、導波管の保護カバー 1 3 の外側端面は払拭、消毒または洗浄され、清潔および衛生が保持される。体温が測定される時、導波管の保護カバー 1 3 の外部のキャップは不必要であり、直接使用される。キャップによる環境保護問題は解決され、キャップの屈折紋による光の屈折の影響も防止できる。

专利名称(译)	温度计传感器头		
公开(公告)号	JP3079578U	公开(公告)日	2001-08-24
申请号	JP2001000611U	申请日	2001-02-14
[标]申请(专利权)人(译)	捷威科技股分		
申请(专利权)人(译)	捷威科技股▲分▼有限公司		
当前申请(专利权)人(译)	捷威科技股▲分▼有限公司		
[标]发明人	游朱羲		
发明人	游 朱羲		
IPC分类号	A61B5/00 G01K7/00		
FI分类号	A61B5/00.101.K G01K7/00.341.Z		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

解决的问题：提供一种能够精确测量体温的温度计传感器头。设置有波导管（11），温度传感器（12）和波导管保护罩（13）。在波导管保护罩13的内部安装有多个支撑肋，以预定间隔支撑波导11和波导保护罩13。无缝的透明薄片一体地安装在波导保护罩13的外端面131上，波导保护罩13的外端面131被透明薄片覆盖。覆盖了在波导的保护罩13的内部与波导11之间露出的间隙，并且不混入导热阻挡物质，因此提高了温度测量精度。此外，由于外端面是透明的，因此可以精确地发射通过固化和抛光引导的光。可以擦拭，消毒或清洗外端面，以保持清洁和卫生。

